

学校運営	9	本校は必要な危機管理体制を整えている。	B	状況に応じて危機管理マニュアルを見直しなど、点検、検証を行うことで教職員の危機管理意識を醸成する。
	10	本校の特別支援体制は整備されている。	B	教育支援コーディネータやカウンセラーと教員の普段からの連携を図り、指導体制の強化を図る。
	11	各分掌は相互に連携を図りながら課題解決に努めている。	C	運営会議等の場面だけでなく、日常的に部長・主任のコミュニケーション向上を図り、課題解決に協働してあたるよう努める。
	12	本校では学校課題を解決するための研究、研修が取り組まれている。	C	学校全体を「研修の場」と位置付け、校内・校外での研究を積み重ね研鑽するとともに、個々の教員が常に学ぶ意識を持てるよう環境を整備する。
	13	今年度の重点目標を達成すべく教育活動が行われている。	C	年度の重点目標を学年、コースや分掌の教育計画作成に反映させながら進むよう努める。
	14	本校の教育活動はP D C Aサイクルのもとで効果的に動いている。	C	常にサイクルを意識し問題点、課題を解決し、年度途中でも改善を図っていく。
	15	本校の情報は、中学校教員、中学生や保護者、地域住民向けに効果的に発信されている。	B	学校ホームページ、広報誌などの媒体をさらに工夫して発信する。タイムリーな情報発信を心がける。
	16	本校は保護者との連携をスムーズに行っている。	B	日常的に学校ホームページやClassiを活用して学校情報を積極的に発信することで、学校の現状を理解していただくよう努力する。
施設備設	17	本校の教育関係の施設・設備は目標を達成するために充実している。	C	I C T教育に対応した設備の充実、経年劣化した備品の入れ替えを順次行っていく。
活募集	18	本校の特色は効果的に発信され、生徒募集活動につながっている。	B	本校の特色についてさらに集中的にP Rし、他校との差別化で選ばれる学校を目指す。

5 総合的な評価結果

総合評価	理 由
B	<p>コロナ禍において、感染拡大予防の共通認識を教職員・生徒・保護者が持ち、日々の生活を健康・安全に取り組むことができ、大きな感染の広がりも見せず、落ち着いた学校運営を行うことができた。ただ、未だコロナ終息の兆しが見えないことから、次年度も引き続き万全の衛生管理とともに授業・部活動・学校行事等の充実を目指した学校生活を送らせていきたい。</p> <p>アクティブラーニングの先駆けとして取り組んできた「教える」授業から、生徒が「自ら学ぶ」授業への転換は、質的にも充実してきている一方で、生徒数の増加により時間講師が増えたことから、授業アンケートの結果等からは授業満足度について十分とは言えない実態がある。教員個々の授業力の向上策とともに各教科における教員配置について今後十分に検討する必要がある。</p> <p>進学面では、130名の卒業生に対し、国公立大学の合格者数は13名（うち男子生徒5名）であった。ここ数年、卒業生の内10%程度が国公立大に合格しているが、特に進学コースからも連続して合格者が出来ていることから、コース独自の「受験部」の取り組みなどが成果となって現れてきていると考えられる。私立大学についても積極的に関東圏への進学を志す生徒も多く、学校全体として進学指導の質を上げて行けるよう努力したい。</p> <p>募集活動においてはこれまで行ってきた取り組みや進学実績をP Rし、他校との差別化を図ったことにより、中学生、保護者、教員をはじめとする教育関係者への周知が進んだ。このことにより、2022年度入試においては近年上川管内の中卒者数が減少する中において、本校の入学人数は136名と定員140名を若干下回るものの一定数の確保をすることができた。今後この流れを継続させるために、さらに本校生徒の学校活動を充実させ進路実績を向上させることや男子生徒の学校内での活動の活発化をめざすとともに、このことを効果的に発信する募集活動の充実に教職員一丸となって取り組んでいきたい。</p>